2026年11月13日

各　位

会　社　名　株式会社ＡＳＩＡＮ　ＳＴＡＲ
代表者名　代表取締役社長　渡邉　智彦
（コード：8946　東証スタンダード市場）
問合せ先　経営企画室　室長　松永　絵里香
ＴＥＬ（045）324-2444（代表）

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026年2月13日に公表いたしました2026年12月期通期（2026年1月1日～2026年12月31日）の連結業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1．2026年12月期 通期連結業績予想数値の修正（2026年1月1日～2026年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想　（A）	6,500	220	200	120	5.05
今回修正予想　（B）	5,000	50	23	20	0.80
増減額（B-A）	△1,500	△170	△177	△100	
増減率（%）	△23.1	△77.3	△88.5	△83.3	
（ご参考）前期実績 2025年12月期通期	4,541	195	184	113	4.77

2．修正の理由

2026年2月13日に公表いたしました「2025年12月期決算短信〔日本基準〕（連結）」における2026年12月期の業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の進捗状況および足元の事業環境を踏まえ、精査いたしました結果、前回公表値を下回る見込みとなりました。

売上高におきましては、主力事業のうち、不動産管理事業が概ね計画通りに推移したものの、不動産販売事業において、一部エリアにおける物件供給増加に伴う取引環境の変化や、買主側における資金調達環境および投資見通しの再評価等を背景に、売買交渉条件や時期の変更が生じました。これに伴い、売上および収益の根幹をなす主要物件の引き渡しにつきまして一部案件における売買取引の見送りや翌期以降への繰り延べが生じることとなりました。併せて、日中関係をはじめとする地政学的リスクや国内金利の先高観を

考慮した高額物件の仕入れ手控え、売買仲介事業における需要停滞等も重なり、売上高は当初計画を下回る見通しとなりました。

利益面におきましては、不動産販売事業における在庫回転を優先した価格調整に伴う利益率の縮小や、事業基盤強化に向けた組織再編に伴うコストの増加等が収益を圧迫いたしました。

さらに、RWA 事業におきましては、今期中の収益化は見込んでいなかったものの、事業基盤構築および準備に係る費用が想定を上回ったことなども影響し、各階層利益ともに前回予想を下回る見込みとなりました。

なお、今後の業績推移や事業環境の変化等により、実際の業績数値は本資料に記載されている予想と異なる可能性があります。

（注）本日公表いたしました業績予想の修正を踏まえた今後の事業施策および成長戦略につきましては、本日付当社プレスリリース「通期業績予想の修正に関するお知らせ」補足資料「ASIAN STAR Growth Vision Rise up Plan 2027｜AS Value Chain の強化」を併せてご参照ください。

以上